

「平成屯田兵ツアー」に参加して

東京北見会 副会長 鈴木 富雄

第9回平成屯田兵ツアーが、5月23～24日、30名が参加して行われた。この企画の発端は、9年前の幹事会で、「明治30年に野付牛（北見）に入植した北光社移民団や屯田兵の苦勞や心境を探りたい」という想いからであった。

これまでのツアー体験では、現地農家での玉葱・ジャガイモの作付け作業、植樹祭、企業・工場見学、文化・スポーツ施設訪問、史跡巡り等を行ってきた。

今回も北見市観光部の協力を得て開催された交流懇親会では、北見市長や商工会議所会頭をはじめ、北見市関係者の皆様から、温かい歓迎を受け、ツアー参加者一同、感無量の気持ちであった。



平成屯田兵ツアー

今回のツアーで特に印象に残ったのが、昨年の11月に通年開館としてオープンした「アドヴィックス常呂カーリングホール」でのカーリングの体験であった。日頃テレビでしか見たことがなかったが、敦賀信人氏（日本男子カーリング元代表選手）の指導を受け、氷上に立つことから始めて試合形式の練習までプレーできたのは感激であり、貴重な体験であった。北見を代表する玉葱・薄荷。帆立等に加えて、「カーリング」を積極的にPRしていくチャンスだと思ふ。是非、北見市の地元チーム「ロコソアール」の更なる飛躍を期待している。



カーリングは北見の「国技」

故郷比布町120年

東京比布会 理事 深瀬 和昭

ふるさと比布町は、今年120年の輝かしい年を迎えました。心からお祝い申し上げます。

未開の原野に入植された先人達、幾多の苦難を乗り越え英知と努力により郷土を築きあげられ、脈々と受け継がれていること感謝申し上げます。

自然豊かな四季折々の比布町。比布町は大雪山連峰の源流から流

れる石狩川の豊かな水に恩恵受け、上川地方有数の米どころです。

ゆめびりか・ほしのゆめ・きらら397は大変おいしいお米です。またハウス栽培も盛んで、いちご・メロンなどは特産品になっています。

また、比布町どこからでも大雪山連峰の景観は絶品です。ぜひ来町ください。

私達、東京比布会は比布町が1

00年を迎えた平成6年に創立いたしました。今年で20年を迎えております。

会員数約350名、毎年総会・交歓会を開催しています。今年6月28日、お台場のホテルにて約70名の参加で行われました。

比布町から町長はじめ数名ご参加いただき、郷土の話に花を咲かせていました。

ニユース

標津町エコツーリズム推進協議会が農水省「ディスカバー農産漁村の宝」優良事例に

標津町の豊かな自然環境や恵まれた食材を全国に発信するため町と観光協会および漁協、農協、旅館組合などの各種団体で平成13年に発足した標津町エコ・ツーリズム推進協議会が、このたび農林水産省の第1回「ディスカバー農産漁村の宝」優良事業に認定されました。現在は、いくらづくり、秋サケの水揚げ見学、溪流釣り、カヌー体験、酪農体験、スノーシュートレッキングなど50種類ほどの体験メニューを用意し、修学旅行や大学の研修、一般の観光などの受け入れを行っています。今回の選定をきっかけとし、地域が

育んできた産業と共存する形で、標津の魅力を再発見し、それを活かした体験型・滞在型観光をいっそう推進していきます。

町から特産品提供で、恒例のお楽しみ抽選会が始まり、会場大いに賑わいました。

最後に、比布町の益々の発展と会員皆様のご健勝を祈念し万歳三唱で終えました。

新得町「北海道の重心の町」

東京ふるさと新得会 会長 秋山 憲一

わがふるさと新得町は、北海道の重心の町と呼ばれています。「中心は富良野でないかい、どこが違うの」という質問が来そうですが重心は重さの代表地点という意味で、具体的にはそれぞれ市町村の面積と基準からの距離を掛けたものを累計し、それを全体の面積で割れば重みの代表地点の基準からの距離となります。

それを東西、南北2方向で求めて出されます。

ことし、北海道ふるさと会連合会に入会させていただきます。今までも多くの道産子仲間たちとの交流を通じて、人脈、情報を吸収し、仲良く楽しく、活発なふるさと会を目指します。ご指導ご鞭撻、宜しくお願致します。

致します。